

各 位

京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町 436 番地の 2  
株式会社 エスケーエレクトロニクス  
代表取締役社長 石 田 昌 徳  
(コード番号：6677)

問い合わせ先 経営戦略室長 前 川 隆  
電 話 番 号 075 (441) 2333 (代表)

## 第 2 四半期累計期間業績予想と実績値の差異、 通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 3 月 1 日に公表しました平成 28 年 9 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 3 月 1 日に公表しました通期業績予想および平成 27 年 11 月 9 日に公表しました配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異  
(平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,000	700	700	1,300	116 円 78 銭
実績値 (B)	7,968	835	953	1,441	131 円 14 銭
増 減 額 (B-A)	△32	135	253	141	
増 減 率 (%)	△0.4%	19.3%	36.1%	10.8%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 9 月期第 2 四半期)	10,461	2,543	2,349	1,503	134 円 19 銭

(2) 通期予想数値の修正 (平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,000	1,100	1,100	1,500	134 円 74 銭
今回修正予想 (B)	16,500	1,700	1,900	1,800	161 円 69 銭
増 減 額 (B-A)	500	600	800	300	
増 減 率 (%)	3.1%	54.5%	72.7%	20.0%	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 27 年 9 月期)	19,660	3,784	3,766	2,156	192 円 45 銭

## 2. 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異  
(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,200	200	200	1,100	98円81銭
実績値 (B)	6,312	255	258	1,118	100円45銭
増減額 (B-A)	112	55	58	18	
増減率 (%)	1.8%	27.5%	29.0%	1.6%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年9月期第2四半期)	9,099	2,261	2,288	1,478	131円94銭

(2) 通期予想数値の修正 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,400	210	350	1,230	110円49銭
今回修正予想 (B)	12,800	500	700	1,300	116円78銭
増減額 (B-A)	400	290	350	70	
増減率 (%)	3.2%	138.1%	100.0%	5.7%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年9月期)	16,542	2,893	3,113	1,826	162円98銭

## 3. 差異および修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、フラットパネルディスプレイの高精細化に伴う高付加価値フォトマスクの受注増加等によってプロダクトミックスが改善しました。また、為替相場の変動により当社グループが保有する外貨建債権債務に評価益が発生したこと等も影響し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を上回りました。

通期業績につきましても、第3四半期以降の市場環境が当初想定と比べ活況となることや、第2四半期累計期間と同様にプロダクトミックスの改善傾向が継続することを見込んでおり、業績予想を修正いたします。

## 4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成27年11月9日)	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
今回修正予想	—	18.00 (普通配当 15.00) (記念配当 3.00)	18.00 (普通配当 15.00) (記念配当 3.00)
当期実績	0.00		
前期実績 (平成27年9月期)	0.00	18.00	18.00

## 5. 配当予想修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと考え、業績の変化を反映させつつ、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保や将来の業績等を総合的に勘案しながら、株主の皆様に対して継続的な利益配当を実施することを基本方針としております。

この方針のもと、平成28年9月期の期末配当金につきましては、通期業績予想が当初予想を大きく上回る見通しとなったことから、1株当たり3円増額させていただきます。

また、当社は平成28年10月1日をもちまして設立15周年を迎えることになりました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援・ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に対し感謝の意を表すため、上記増額に加えて、1株当たり3円の記念配当を加え、合計18円（普通配当15円、記念配当3円）とさせていただきます。

### ※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上